

第30回定期中央本部大会 上村書記長 総括答弁



大阪北部地震、西日本豪雨直後の開催となった第30回定期中央本部大会。被災された組合員、地域の方々、そして酷暑の中、復旧作業に日々奮闘している、グループ労組を含めた仲間の皆さんに対して、思いを馳せることができた素晴らしい大会であった。

また、本社総支部が初の準備地本となった今大会では、託児所が常設されるなど、新たな試みも行われた。本大会を作り上げて頂いた。

は、タイの洞窟少年救出やオウム真理教の麻原彰晃の映像が連日流されていた。西日本エリアでこれほど大きな被害があったにもかかわらず、東京との温度差を感じたのは私だけではないと

契約社員が、任期満了で、みなさんの職場から「お世話になりました」と去っていく。徒労感というか、やるせない気持ちになる。この契約社員の生活をきちんと守る、保証する、ということも含めて、大胆に提案をしながら、方向性を出していききたい。

江上間接部会長

◆働く環境が整っていることは、大事なことだと考えている。現場でも間接部門でも、女性の設備は整備されつつあるが、まだまだ足りない部分もある。いったん設備が整った段階から、時間が経つと、働く環境や設備の実効性や男女の比率も変わり、改めて「設備が実情と合っているか」、「どの程度足りないのか」が問題となる。

弥栄医療部会長

◆出向社員の医適は、出向後に現場に戻れるメリットがあると思うが、セクターと連携して調査検討させていっていただく。

山中工務部会長

◆災害対応についての意見集約の要望を聞いています。是非ともまとめたい。

◆在来線からの新幹線の社員任用は、是非はともかく、社員への意識づけをきちんとすべきである。◆会社に対して、支社への被害対策予算を訴えていきたい。



◆持合いとなる境界では、議論をしっかりとしたい。まずは会社直轄で何をやるのか、グループ会社で何をやるのか。「保線と電気」「土木と建築」など、仕事の業務について、根気強く勉強していきたい。

◆作業責任者手当は、ずっと100円。刑事事件の責任を取らされるくらいなら、責任者を辞めたいという声があるほどである。

山下組織・業務次長

◆力のない女性でも安全に作業できるようにしてほしいとの要望がある。契約更新のタイミングでの仕様変更を求めていく。

福本業務部長

◆新幹線の代替輸送により、お客様で、すでに一杯のこと。社員が代用証を持つて乗るということにはならない。

◆二泊三日で本部大会をやる意味は大きい。小委員会方式で、本部大会ができるのはJR西労組だけで、生の声が聞ける貴重な場だと認識している。

◆制服の貸与枚数については、議論していく。◆大規模災害について、申し入れを提出。教訓にできるよう議論する。

◆駅業務のあり方は、大胆な転換点を迎えている。地方ではワンマンが走り、無人駅もあることも認識をされている。それに付随する業務が地方駅にはあると思っ

被災地・被災者に思いを重ね

いた代議員・傍聴者、準備地本の皆さんに感謝申し上げます。

1 自然災害について

まずは、大阪北部地震、西日本豪雨をはじめとする自然災害に対して、どう備え、立ち向かっていくかという点について申述べたい。今回感じたことは、西日本豪雨の最中、テレビで

改めて提起する。支援カンパを含めて、西日本を覆う暗雲を、西日本の交通インフラを担う私たちが取り払おうではないか。この難局を全組合員一丸となって乗り越えることを確認したい。

今回の地震、豪雨は、奇しくも物流を含めた公共交通の重要性が再認識される機会となった。しばらくはご利用者の皆様にご不便をお掛けすると思うが、各エリアからの最大限の支援を要請する。

被災した組合員、地域の方々のために、一人千円カンパを作り上げて頂くことを要請する。

2 安全について

福知山線列車事故現場の慰霊施設の整備がまもなく終わる。ご遺族・ご被害者のご案内後、一般公開されることについて、是非、足を運んで頂きたい。なお、事故直後に会社全体で集めた寄付金は、この慰霊施設の一部に充当されたことを改めて報告させて頂く。

3 春季生活闘争について

春闘妥結後、多くの組合員の皆さんから「ありがと」という言葉を頂いた。このような経緯は正直初めだが、JR連合春闘を牽引し、ベアの積み重ねを途絶えさせることなく、公正配分を求めていく。

4 働き方改革・業務内容の見直しについて

AI、IoTなどの第四次産業革命が劇的に進んでいる。ある雑誌で「自動運転が可能なのは、まずは山手線」とJR東日本の社長がインタビュー記事で掲載されていた。ご存知の方も多いと思うが、現在の山手線では、運転士のブレーキ操作なしで停止位置に正確に止まることができている。これは一例だが、労働集約型の鉄道業にも、技術革新の大きな波が押し寄せる。要

は、これらの技術を人が活用して、業務を見直していくかという主体性が重要だ。

駅業務の確保が厳しい今、駅の業務体制そのものの見直しが必要だ。これは駅に限らず、今や全ての業務が本場に必要か。細かい話かもしれないが、マイオビニオンや業研、CSフェスティバルなどで本来の目的が見失われてはいないか。何のためにやっているのか。今一度、立ち止まって、様々な業務やしくみなどを見直す必要がある。そのことが働き方改革にも繋がるのではないかと

5 組織と財政について

八人山の踏切事故の当該運転士を誹謗中傷する「あなたも私も前科者」というビラをJR西労が掲示板に張った。この卑劣な行為は、JR西労のJR西労たる所以であり、彼らの本質を決定して忘れてはならない。

6 政治

参院選の全国比例については、電力総連組織内候補の浜野氏、私鉄総連組織内候補の森屋氏の推薦を決定した。また、来る統一地方選挙においては、組織内候補である、JR入社初の梶原君（京都府県議選）、柿本君（広島県議選）の必勝にむけて全力で取り組む。私たちに三月大造詣賃増の成功体験はあるもの、極めて厳しい闘いになることを認識しなければならぬ。皆さんとともに、勝利を掴み取りたい。

「助け合い・支えあい」の組合精神で

駅業務の確保が厳しい今、駅の業務体制そのものの見直しが必要だ。

これは駅に限らず、今や全ての業務が本場に必要か。細かい話かもしれないが、マイオビニオンや業研、CSフェスティバルなどで本来の目的が見失われてはいないか。何のためにやっているのか。今一度、立ち止まって、様々な業務やしくみなどを見直す必要がある。そのことが働き方改革にも繋がるのではないかと

八人山の踏切事故の当該運転士を誹謗中傷する「あなたも私も前科者」というビラをJR西労が掲示板に張った。この卑劣な行為は、JR西労のJR西労たる所以であり、彼らの本質を決定して忘れてはならない。

参院選の全国比例については、電力総連組織内候補の浜野氏、私鉄総連組織内候補の森屋氏の推薦を決定した。また、来る統一地方選挙においては、組織内候補である、JR入社初の梶原君（京都府県議選）、柿本君（広島県議選）の必勝にむけて全力で取り組む。私たちに三月大造詣賃増の成功体験はあるもの、極めて厳しい闘いになることを認識しなければならぬ。皆さんとともに、勝利を掴み取りたい。